

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和元年度事業対象)

令和 2 年 6 月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（7事業）	
	・教職員の服務規律の厳正確保を図る	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・江田島の「食」について知り，故郷への愛着や誇りを育てる	6
	・歴史資料館の活性化を図る	7
	・公共スポーツ施設の利用促進を図る	8
	・図書館の充実を図る	9
3	外部評価委員の意見	10
4	総合評価	14
5	その他	15
資料1	令和元年度（平成31年度）江田島市教育委員会 経営計画	18
資料2	令和元年度江田島市教育委員会 自己評価表	20

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3 名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

令和元年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、平成 30 年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい 7 事業を定め、令和元年度（平成 31 年度）江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

令和元年度に実施したこれら 7 事業の取組を点検・評価の対象とします。

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	教職員の服務規律の厳正確保を図る。
短期経営目標	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。（懲戒処分件数 0件）

2 取組・方策

○校長会、教頭・事務長会等において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。（実施した月日は、別紙の通り）

また、各校が実施した服務研修の好事例を紹介し、各校の服務研修に生かせるようにした。

○5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。

・以下の2点について取り組み、実施率は100%であった。

①管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。

②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生じた懲戒処分事案を扱う

○全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを実施した。

・各学校の実施率は100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する事案は生起していない。

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（平成30年度）	0件
目標値（令和元年度）	0件
総合評価	0件

○定めた取組・方策を計画的に実施し、現時点では目標を達成している。

4 改善策

○今後も引き続き、校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行う。

令和元年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内容
4	4	木	校長会	服務規律の確保について
	23	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	7	火	校長会	服務規律の確保について
	23	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	5	水	校長会	服務規律の確保について
	12	水	第1回初任者研修	服務規律の確保について
7	2	火	校長会	服務規律の確保について
9	5	木	校長会	服務規律の確保について
	10	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	3	木	校長会	服務規律の確保について
	15	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	5	木	校長会	服務規律の確保について
12	3	火	校長会	服務規律の確保について
	10	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
1	9	木	校長会	服務規律の確保について
	14	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
2	4	火	校長会	服務規律の確保について
	18	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
3	5	木	校長会	服務規律の確保について

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

習得した知識・技能を活用する力を向上させる。 （全国学力学習状況調査（B問題）について、国語は全国平均正答率を2ポイント以上、上回る。算数・数学は、全国平均正答率を4ポイント以上、上回る。）
--

2 取組・方策

○「学びの変革」推進協議会を活用し、各校の教務主任及び研究主任を対象に、課題発見・解決学習の進め方に係る協議・演習を行った。（6月25日、11月11日、2月5日） ○外国語活動推進協議会を活用し、小学校の外国語活動担当教員と高学年担任及び中学校の外国語科担当教員を対象に外国語教育の指導方法に係る協議・演習を行った。（7月4日、11月20日、1月22日） ○学力調査（全国学力・学習状況調査）の結果の分析を行い、ホームページ及び広報（10月）で公表した。 ○学力向上に係る先進校視察を市内の中学校の教諭4名を対象に実施した。（令和元年10月11日） ○学力向上に係る先進校視察を市内の小学校の教諭6名を対象に実施した。（令和2年1月16、17日）

3 評価

評価指標	全国学力・学習状況調査（B問題）の平均正答率																			
実績値（平成30年度）	全国学力・学習状況調査（B問題）の平均正答率（全国平均との比較） 小学校6年生 国語 +0.3, 算数 +2.5 中学校3年生 国語 +0.8, 数学 +2.1																			
目標値（令和元年度）	国語は、全国平均正答率を2ポイント以上、上回る。 算数・数学は、全国平均正答率を4ポイント以上、上回る。																			
総合評価	令和元年度全国学力・学習状況調査（B問題）結果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>江田島市</th> <th>全国</th> <th>江田島市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>70 (+6.2)</td> <td>63.8</td> <td>74 (+1.2)</td> <td>72.8</td> </tr> <tr> <td>算数・数学</td> <td>71 (+4.4)</td> <td>66.6</td> <td>56 (-3.8)</td> <td>59.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※昨年度までの調査は、A「知識」に関する問題及びB「活用」に関する問題に分けて調査が実施されたが、今年度からは、AB一体化により、調査問題が一つになり、各問題について従来のAB区分が示された。AB区分において、全ての問題がB区分（一部A区分も含む）に関する問題となっている為、今年度の結果をB区分の結果と捉え評価を行った。</p> <p>※（ ）内は、全国平均正答率との差を示している。</p>		小学校		中学校		江田島市	全国	江田島市	全国	国語	70 (+6.2)	63.8	74 (+1.2)	72.8	算数・数学	71 (+4.4)	66.6	56 (-3.8)	59.8
	小学校		中学校																	
	江田島市	全国	江田島市	全国																
国語	70 (+6.2)	63.8	74 (+1.2)	72.8																
算数・数学	71 (+4.4)	66.6	56 (-3.8)	59.8																
	○小学校の国語と算数は、目標値を達成した。 中学校の国語と数学は、目標値を達成できなかった。																			

4 改善策

○今後も、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が、各校で組織的に推進されるよう、「学びの変革」推進協議会及び教務主任研修において指導助言を行う。 ○各校の学力向上に係る取組状況を把握し、全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。
--

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	不登校児童生徒数を減少させる。

1 短期経営目標（具体）

不登校児童生徒数を減少させる。（不登校児童生徒数の割合 小学校1人，中学校5人以下）

2 取組・方策

- 校長会，教頭・事務長会で，問題行動等生徒指導上の諸問題の発生状況を示すとともに，未然防止の取組について指導した。
- 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら，欠席日数が30日を超える前の段階で，各校の実態に応じた指導助言を行った。また，不登校（傾向含む）児童生徒のいる学校を訪問し，管理職，担任，生徒指導主事，養護教諭と連携し，児童生徒の受け入れ態勢や個に応じた取組の方向性について協議するとともに，関係機関とも連携し，改善を図った。
- 生徒指導主事，養護教諭，スクールカウンセラー等を対象に生徒指導主事研修を計画し，講師として県立教育センター指導主事を招聘し，不登校への適切な対応の在り方について研修を実施した。（6月19日）
- 道徳教育推進協議会を活用し，道徳教育推進教師等を対象として，広島県教育委員会豊かな心育成課等の講師を招聘し，児童生徒の豊かな心を育む道徳授業のあり方等について研修を行った。（5月15日，8月6日，12月18日，1月31日）
- 9月を「いじめ撲滅月間」とし，重点的な取組を行った。
 - ①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施する。
 - ②全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」の結果を分析するとともに，必要に応じて，個別面談等を実施する。
 - ③いじめの未然防止や早期発見に努める。
 - ア いじめは「どの子供にも，どの学校にも起こり得る。」という認識のもと，児童生徒の小さなサインを見逃さず，日頃から児童生徒の状況把握に努め，組織的に対応する。
 - イ 9月は「いじめ撲滅月間」であることを学校便りやホームページ等で保護者や地域の方々に周知し，実施後は各校の取組等を紹介する。
 - ウ 教職員と児童生徒，児童生徒間の共感的な人間関係づくりに努め，児童生徒との絆を深める。
- ふるさと実感事業実施計画書に基づき補助金を交付し，各学校が取組を進めている。

3 評価

評価指標	不登校児童生徒数の割合
実績値（平成30年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校6人，中学校7人
目標値（令和元年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校1人，中学校5人以下
総合評価	不登校児童生徒数の割合 小学校6人，中学校7人
現時点では，不登校児童生徒数は小学校6人，中学校7人であり，目標を達成できなかった。しかし，不登校児童生徒の中には，状況が改善している児童生徒もいる。	

4 改善策

- 今後も，全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」を定期的に行い，結果を分析し，教育相談体制の充実が図られるように指導する。
- 自己・他者理解，支えあう集団づくりの推進について，各校の実態に応じた指導助言を行う。
- 引き続き，不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら継続的な支援を行い，欠席日数学期合計10日を越えた段階及び年度合計20日を越えた段階で，各校の実態に応じた指導助言を行う。

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。
短期経営目標	児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。

（目標 学校給食で使用した地場産品を4問以上答えられる児童生徒の割合を25%以上とする。）

2 取組・方策

- 野菜や魚介等の食材を発注する際、地場（県内）産品を指定している。
- 毎月1回発行する学校給食だよりで、地産食品の使用を周知している。
- 「おいしい江田島の日給食」を年2回（6月、11月）実施し、江田島産品を積極的に使用する。
- 市長部局（健康推進課）と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。
- 「ひろしま給食100万食プロジェクト」に参加（10月17日）し、県内統一メニューによる広島ならではの給食を配食する。

3 評価

評価指標	学校給食で使用している地場産品を4問以上答えられる児童生徒の割合
実績値（平成30年度）	6%
目標値（令和元年度）	25%
総合評価	14.5%。目標値には達していないが、地場産品の認識度は少しずつ定着している。

アンケート結果

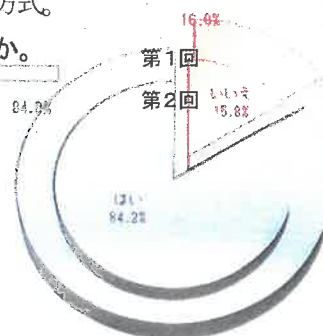
6月 調査客体（小学5年生119人、中学2年生125人。合計244人）記入方式。

2月 調査客体（小学5年生115人、中学2年生126人。合計241人）記入方式。

（1）学校給食に、江田島の地場産物が使われていることを知っていますか。

（2）学校給食で使われたことがある江田島市産の食べもので、
思いつくものすべて書いてください。

	第1回	第2回
正解記入者数	177人 (75.3%)	190人 (78.8%)
	28品目 延べ485件	22品目 延べ419件



（3）推測で記入する回答例が見られたため、正解数-不正解数 \geq 4問を正解とした。

その結果が次のとおり。

	\leq 0問	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問
第1回	104人	48人	35人	29人	18人	5人	3人	1人	1人
第2回	83人	55人	31人	36人	23人	11人	1人	1人	
増減	▲21	7	▲4	7	5	6	▲2	0	▲1
					4問以上回答 28人(13.7%)→36人(14.5%)				

4 改善策

学校給食で使用している地場産品の広報をより一層行い、地場産品の啓発普及に努めることで目標値に近づける。

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	歴史資料館の活性化を図る。
短期経営目標	学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

（	目標 学びの館	9,300人	）
	大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）	2,300人	）

2 取組・方策

○学びの館

- ・ものづくり教室を18回実施した。
- ・煎茶体験教室を実施した。
- ・市民ギャラリーを実施した。
- ・教育参考館特別展を実施した。

学びの館ものづくり教室（18教室から抜粋）

教室名	実施日	参加者数
陶芸教室—わたしの器づくり	4/20	11
お菓子の家の貯金箱を作ろう	8/17	15
筆ペン・ボールペン習字講座	2/13	20

○大柿歴史資料館（灘尾記念文庫）

- ・教育参考館特別展を実施した。
- ・くらしの古民具展を実施した。
- ・偉人紹介「瀬越憲作展」を実施した。

学びの館市民ギャラリー（6展から抜粋）

展示名	実施	観覧者数
暮らしに役立つハーブ展	5月	367
パッチワーク教室ウィズ作品展	6月	297
絆 田本文子・湊里香親子展	2月	366

- 事業PRを，積極的に行った。

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成30年度）	学びの館：8,357人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：2,123人
目標値（令和元年度）	学びの館：9,300人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：2,300人
総合評価	学びの館 8,777人 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,335人

○学びの館は目標値を下回ったが，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）は目標を達成した。

学びの館8,777人（94.3%） 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,335人（101.5%）

4 改善策

○施設や事業開催に係るPRを強化する。

○学びの館市民ギャラリーと連動したものづくり講座を企画する。

令和元年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数の増加を図る。（目標：115,000冊）

2 取組・方策

- 8月1日から予約による図書の貸出・返却を、市民サービスセンター等5ヶ所においてできるような窓口の拡充を図った。
- 2館2室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を7月8日～9月30日まで実施した。
- ミニ図書館の開催について、毎月の「広報えたじま」の図書館だより欄に、開催日時欄を設けるほか、防災行政無線施設放送により周知を図った。
- 図書館だよりや行事案内を小中学校、保育園、公民館、港ターミナル、子育て世代包括支援センター等に配布または掲示し、周知を図った。
- 各館（室）に他館（室）のおすすめの本展示コーナーを設け利用促進を図った。
- 子ども読書活動推進計画の取組として、子どもの日スペシャルを2館で実施した。また、各館（室）で毎月の読書関連事業や読書ボランティアによる本の読み聞かせ等を行っている。
- 高学年を対象とした「子ども司書」養成講座を6月から12月まで2図書館において実施した。全体研修、実地研修及び秋の活動等のプログラムを修了した受講者3名全員が、広島県から認定証書を授与された。

ミニ図書館の実績（4月～2月） ※月2回

場 所	利用人数	利用冊数
津久茂児童館 (5, 1, 3月は1回)	101	338
切串公民館 (5, 1月は1回)	223	962
三高会館 (5, 1月は1回)	111	402
市民サービスセンター (5, 1月は1回)	63	215

3 評価

評価指標	年間貸出冊数
実績値（平成30年度）	99,548冊
目標値（令和元年度）	115,000冊
総合評価	96,697冊
○目標を達成できなかった。 貸出冊数：96,697冊（84.0%）	

4 改善策

- 利用案内及び図書館だより等のチラシを市内各所に配布または掲示し、PRを強化する。
- 読書の記録のため、「読書貯金通帳」配布に加え、HP「MY本棚」等の活用もPRする。
- 市民センター等での図書の受渡（貸出・返却）の利用についてPRを強化する。

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	渡辺 高久	市関係者 (元江田島市教育委員会 教育次長)

(1) 教職員の服務規律の厳正確保を図る

短期経営目標である「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする」取組が継続され、ここ数年来にわたって不祥事が発生していない。このことは、「服務規律の確保」に関する研修が校長会、教頭・事務長会等において計画的に実施し、市内の全教職員へ浸透している結果である。また、各学校が実施した服務研修の好事例を紹介する等、教育委員会の積極的な働きかけが評価できる。

全児童生徒に「体罰」等のアンケートを実施した結果からは、該当する事案は発生していない。各学校できめ細かな指導の徹底が図られているためであろう。

今後も不祥事「0（ゼロ）」が継続されるよう、取り組んでいただきたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

昨年度からは、全国学力・学習状況調査（B問題）をもとに短期経営目標を設定した。小中学校とも、全国平均を上回る高い目標値になっている。小学校は国語・算数とも達成していた。中学校は達成できていなかったが、国語は全国平均正答率を上回っていた。学力は着実に向上していると言える。年度によって、対象学年での学力の偏り等があると考えられるが、要因を把握し目標達成に取り組んでもらいたい。高い目標値の設定は、教職員や児童生徒の負担を考慮し、過大

な負担とならない範囲で、学力の向上に取り組んでいただきたい。

「学びの変革」推進協議会、外国語活動推進協議会等を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や外国語教育推進のため、小中学校の連携をさらに進めて欲しいと望む。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全国学力・学習状況調査が中止になった。今後は市独自で学習状況調査を進めていく予定であると聞いている。これらを利用し、学力向上へ繋がるような分析を期待したい。

(3) 児童生徒の豊かな心を育成する

短期経営目標「不登校児童生徒数を減少させる」ために、教育委員会は各学校へ訪問し、解決へ向けた指導助言を行っていた。また、生徒指導主事研修で外部講師を招聘し、不登校児童生徒への適切な対応の在り方について研修会を行っている。

教育委員会は、解決のため関係機関と連携しながら、相談活動等を積極的に実施していた。そうした中、状況が改善している児童生徒もいる。

9月を「いじめ撲滅月間」として重点的に取り組まれていた。アンケート実施等により、児童生徒の状況を把握することは大切なことである。日常的に対応できるような組織の構築や児童生徒間の人間関係づくりが、さらに深まるよう取り組んで欲しい。

不登校児童生徒については、様々な要因が考えられるため、要因把握が困難なものもあると思われるが、今後も不登校児童生徒の状況を把握しながら、改善されるよう継続した取り組みをお願いしたい。

(4) 江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる

学校給食に地場産品を積極的に使用した献立が増え、児童生徒も喜んでいる様子である。学校給食だより等で食材を周知するよう努めている。保護者にとっても参考になるのではないだろうか。昨年度に比べ、地場産品を知っている児童生徒が増え、感心度は高まりつつあると言える。しかしながら、目標値を達成できていないので、要因を精査し達成に向けて取り組んでもらいたい。

市長部局と連携した「えたじまん食育レシピ」や「ひろしま給食100万食プロ

ジェクト」に参加し、「食」について深く学ぶ機会を提供していた。

今後も児童生徒が好き嫌いをなくし、給食の時間を楽しみにするような食材・献立をお願いしたい。

(5) 歴史資料館の活性化を図る

大栴地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数は目標値を上回った。「くらしの古民具展」、偉人紹介「瀬越憲作展」は好評であった。特に「瀬越憲作展」では、本市出身の三王裕孝九段を講師として招聘したことも、来場者が増えた要因の一つであった。

学びの館では、目標値には達成しなかったが昨年度と比べ来場者は増えてきている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響も多少あった。市民ギャラリーの企画運営に当たっては、事務局の展示内容等、創意工夫がなされていた。

今後の企画等に関わっては、市民からの要望や史跡・人物の発掘等も考えられる。

人口減の中、来場者数の増加は厳しいものがあると思われるが、1人でも多くの来場者が増えるよう、関係機関等との連携や新しい取組を望む。

(6) 公共スポーツ施設の利用促進を図る

スポーツセンター利用者が当初の目標値を下回った。このことは、新型コロナウイルスの感染症対策により、使用を自粛したことも影響している。また、競技者の減少でビーチバレーボール大会の開催が少なくなっている。利用者数の増加を図るために、江田島市ゆかりのスポーツ選手を紹介したり、運動機器の使用マニュアル・トレーニングメニューを作成したりしながら、積極的に取り組まれていた。

今後、利用者を増やしていくために、関係団体との連携や事業内容の検討等、市民が気軽に利用できる場になるようお願いしたい。

(7) 図書館の充実を図る

図書館年間貸出冊数の目標値を達成することはできなかったが、新しく図書の貸出・返却の窓口の拡充を図り、利用しやすいよう事業が展開されていた。新し

い試みを高く評価したい。

ミニ図書館の開催，おすすめ本の展示コーナー，読書ボランティアの読み聞かせ，子ども司書の講座等，充実した取組がなされていた。PR活動もしっかりなされ，市民への周知を行っていた。利用者の中で，高齢者の利用が多いのは注目すべき点であり，今後利用状況を分析する上でも参考にして欲しい。

さらに，年々人口減・文字離れが進んでいる中，本を読むことの「よさ」などのアピールもお願いしたい。本の貸出冊数だけでなく，図書館の利用者数を目標値とするのも一案ではないだろうか。気軽に図書館を利用できる市民が増えていくことを期待している。

4 総合評価

今回、短期経営目標に基づく7事業に対して意見を付した。

教育委員会が重点的に取り組まれている7事業が確実に展開していたことを高く評価したい。具体的には、事業の目標及び具体的な取組・方策が示され、各事業が着実に推進されていることである。高い目標値を設定し取り組んでいることは、教育委員会事務局職員一人一人の前向きな姿勢の現れである。次年度へ向けた改善策が生かされるようお願いしたい。

教育委員会の指導により、各小中学校では、校長を中心とした組織的な運営・研修体制等も整っている。現在、新型コロナウイルスの感染症対策を推進する上で、各学校は今後の対応に苦慮するものと思われる。さらなる教育委員会のサポートをお願いしたい。

小学校では、新学習指導要領の全面実施を迎えた。主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた授業改善が求められる。「学びの変革」へ向けた研修体制の継続をお願いしたい。さらに、将来を見据えた教育環境の充実を図るために、教育予算の増額を切に望むものである。

今後のさらなる充実・発展を期待する。

5 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
教育長	小野藤 訓	男	元教育関係者
教育長職務代理人	三島 雅司	男	元行政関係者
委員	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	柳川 政憲	男	自営業者・保護者
委員	泊野 仁美	女	保護者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 2回

そのうち 6月17日(月) 江田島中学校訪問

11月18日(月) 大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)訪問

1月20日(月) 鹿川小学校訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 江田島市立学校の学校医の委嘱 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 江田島市教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
2	5月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針案 江田島市学校給食共同調理場運営委員会の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	6月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会事務点検・評価報告書(平成30年度事業対象)案 江田島市教科用図書採択地区小学校選定委員会委員及び調査員の委嘱 江田島市教科用図書採択地区中学校選定委員会委員及び調査員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
4	7月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例 令和元年度江田島市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会関係分) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

5	8月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 請願書「2020年度使用小学校教科書の採択に係る請願」 ・ 令和2年度に市立小学校で使用する教科用図書の採択 ・ 令和2年度に市立中学校で使用する教科用図書の採択 ・ 令和2年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
6	9月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江田島市学校給食費の見直しに関する報告 ・ 令和2年秋の叙勲候補者（教育功労）の推薦 ・ 令和元年度江田島市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会関係分） ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
7	10月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年第2回江田島市議会定例会報告（教育委員会関係分） ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
8	11月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江田島市学校給食共同調理場運営委員会の委員の委嘱 ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	12月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江田島市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案 ・ 令和元年度江田島市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会関係分） ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
10	1月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江田島市学校給食共同調理場設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案 ・ 令和元年第4回江田島市議会定例会報告（教育委員会関係分） ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	2月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江田島市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・ 江田島市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・ 江田島市教育委員会公印規則及び江田島市選挙運動のためにする個人演説会等開催のために必要な設備の程度等に関する規則の一部を改正する規則案 ・ 江田島市灘尾記念文庫管理運営規則及び大柿地区歴史資料館管理運営規則の一部を改正する規則案 ・ 江田島市教育委員会事務局決裁規程等の一部を改正する訓令案 ・ 令和元年度江田島市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係分） ・ 令和2年度江田島市一般会計予算（教育委員会関係分） ・ 江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱 ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
12	2月28日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症への対応
13	3月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年春の叙勲候補者（教育功労）の推薦 ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
14	3月17日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

(2) 教育長及び教育委員の活動

ア 研修会への出席

期日	件名	場所	出席者
4月15日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月25日	広島県都市教育長会春の総会	福山市	教育長
5月15日	第1回西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議	呉市	教育長
5月22～24日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	富山市	教育長
5月30日	広島県市町教育委員会連合会定期総会	広島市	教育長
6月5日	広島県女性教育委員グループ総会、第1回研修会	広島市	委員2名
7月18～19日	中国地区市町村教育委員会連合会監査会、定期総会、研修大会	萩市	教育長 委員1名
9月19日	市町村教育委員研究協議会（第2回）	神戸市	委員1名
10月4日	広島県都市教育長会秋の総会	福山市	教育長
10月17～18日	全国市町村教育委員会連合会第3回常任理事会	防府市	教育長
10月23日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会	広島市	教育長 委員3名
11月1日	広島県女性教育委員グループ第2回研修会	尾道市	委員2名
11月5～6日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	鳥取市	教育長
1月16日	市町村教育委員研究協議会（第3回）	東京都千代田区	委員1名
1月22日	第2回広島県市町教育長会議	広島市	教育長

イ 式典への出席

小中学校入学式における教育委員会告辞

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加、各種委員としての参加

平成31年度江田島市教育委員会 経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（体力、耐力、健康）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人一人が、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、平成30年度は発生していない。

（平成28・29年度も発生していない。）

○全国学力・学習状況調査の平均正答率(B問題)については、平成30年度は小学校及び中学校の全ての実施教科で全国平均を上回った。

（平成29年度全国学力・学習状況調査の平均正答率(B問題)については、小学校は全ての実施教科で全国平均を上回ったが、中学校は数学において全国平均を下回った。）

○生徒指導上の諸問題において、平成30年度不登校児童生徒の割合は、小学校0.74%(6人)、中学校1.74%(7人)である。

（平成29年度不登校児童生徒の割合 本市 小学校0.12%(1人)、中学校2.73%(11人)）

○「おいしい江田島の日給食」で使用した食材を全て答えられる児童生徒の割合 6%

【生涯学習】

○学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成30年度来場者数は、学びの館8,357人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,123人である。

（平成29年度来場者数学びの館9,161人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,111人）

○スポーツセンターの平成30年度利用者数は29,449人で、その内、トレーニング室の利用者数は、7,723人である。

（平成29年度利用者数33,601人、その内、トレーニング室の利用者数は、8,458人）

○図書館の平成30年度年間貸出冊数は、99,548冊である。（平成29年度100,581冊）

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					平成30年度	令和元年度		
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	懲戒処分件数	0件	0件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行う。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの変革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 学校訪問時に学力向上に係る取組状況を把握し、改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。 学力向上に関する先進校を各校の教員が視察する機会を設け、学びを広める場を設定する。 	全国学力・学習状況調査(B問題)の平均正答率	小6 国語(+0.3) 算数(+2.5) 理科(+2.7) 中3 国語(+0.8) 数学(+2.1) 理科(+2.9)	<ul style="list-style-type: none"> 国語は全国平均を2ポイント以上、上回る。 算数・数学は全国平均を4ポイント以上、上回る。 	小6 国語(+6.2) 算数(+4.4) 中3 国語(+1.2) 数学(-3.8)	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に行われるよう、「学びの変革」推進協議会及び教務主任研修で、指導助言を行う。 学力調査の課題に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> 不登校やいじめの早期発見・未然防止につながる各種アンケートを実施し、結果分析に基づいた教育相談体制の充実が図られるよう指導する。 自己・他者理解、支え合う集団づくりの推進について、各校の実態に応じた指導を行う。 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数学期合計10日を超えた段階及び年度合計20日を超えた段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。 	不登校児童生徒の割合 平成30年度 (%)	小: 0.74% (6人) 中: 1.74% (7人)	小: 0.13% (1人) 中: 1.26% (5人)	小: 0.83% (6人) 中: 1.81% (7人)	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめアンケート」を活用し、教育相談体制の充実が図られるよう指導助言する。 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、各校の実態に応じた指導助言を継続的に行う。
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用するとともに、学校給食だよりや各学校の食育担当による取組により児童生徒への周知を行う。 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 	「おいしい江田島の日給食」で使用した食材を全て答えられる割合	6%	25%	14.5%	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食で使用している地場産品の広報をより一層行い、地場産品の啓発普及に努めることで目標値に近づける。
生涯学習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 企画展「瀬越憲作展」を行う。(大柿地区歴史資料館) 文化財等の展示企画を充実させる。 歴史に関する講座を企画する。 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。(学びの館) 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。 	来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫))	8,357人 2,123人	9,300人 2,300人	8,777人 2,335人	<ul style="list-style-type: none"> 施設や事業開催に係るPRを強化する。 学びの館において、市民ギャラリーと連動したものづくり講座を企画する。
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターの利用者数増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 スポーツイベントに合わせ、パブリックビューイングを開催する。 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組む。 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 トレーニング室を利用した健康教室を行う。 広報等の活用により、PR強化を図る。 	利用者数 スポーツセンター(内トレーニング室)	29,449人 (7,723人)	35,500人 (8,800人)	26,717人 (7,285人)	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等との連携によるPR強化を図る。 関係団体等と協力し、スポーツセンターを活用した事業を積極的に開催する。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 読書記録のため、「読書貯金通帳」配布に加え、HP「My本棚」等の活用もPRする。 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 図書を受渡し窓口(貸出・返却)の拡充を図る。 	年間貸出冊数	99,548冊	115,000冊	96,697冊	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係るPRを強化する。 「読書貯金通帳」等を活用し読書活動を推進する。 市民センター等の図書受渡サービスについてPRを強化する。